

学力調査の結果を どのように考えるか

塔村俊介 議員

教育長 昨年に比べ特段の
向上はなく改善すべき課題



問 昨年度の学力調査の結果が公表された。もちろん学力が全てではないが、衝撃的な結果とされている。教育委員会の見解を問う。

答 安部教育長
総じて県平均をやや下回る結果で、昨年に比べて特段の向上は見受けられない。両中学校で格差がちよっと生じているので、改善すべき課題と認識している。

問 総じて悪い原因は何だと考えているか。

答 安部教育長
子ども一人ひとりに自ら学ぶ意欲や自らの資質、能力、場面に応じた学び方が身に付いていないこと、家庭における学習習慣の定着が不十分ということがあげられる。

島根県学力調査結果

		奥出雲	最高値	県平均	順位
小6	国	61.2	71.8	67.7	8位
	算	66.8	81.3	72.5	7位
	社	64.0	73.7	71.0	8位
	理	72.2	80.2	77.0	7位
小5	国	67.4	73.9	69.5	7位
	算	70.2	75.9	73.6	8位
	社	75.0	79.2	76.0	7位
	理	71.0	74.3	71.5	7位
小4	国	58.7	69.6	67.9	8位
	算	66.0	74.0	72.1	8位

順位は県東部8市町による比較

中3	国	67.2	71.5	67.4	5位
	数	56.5	66.6	61.3	7位
	英	62.9	70.5	65.3	6位
	社	63.5	66.7	63.6	4位
	理	67.6	67.6	62.0	1位
中2	国	71.4	76.8	72.4	6位
	数	59.0	70.1	63.7	7位
	英	70.0	82.3	74.2	7位
	社	62.6	67.2	65.0	5位
	理	56.5	63.1	58.3	6位
中1	国	72.9	75.6	74.1	6位
	数	76.3	76.7	74.9	2位
	社	70.2	70.2	67.3	1位
	理	71.7	73.9	71.2	4位

順位は県東部7市町による比較
H22県学力調査を基に独自作成

問 学校外での取り組み

答 安部教育長
学力調査の分析・考察、改善策の作成、教育長・教育委員による学校訪問、教職員による自主的な研究会、各学校への図書館司書の配置がある。

問 高尾小学校の件について問う。複式、少人数の学校が悪いというつもりはない。東京では複式学級を導入する動きもあり、秋田では小規模校には先生を増やすという取り組みもある。できるだけ高尾小学校を残したいという町長の考えに変わりはあるか。

答 可能な限り守っていく考えに変わりはない。必要があれば町単独でも

問 田園倶楽部跡地利用の現況は。

答 現在のところ売却先は決まっていない。

問 玉峰山荘について、入り込み客の減少が続いている。原因をどのように考えるか。

答 不況が最大の原因だと考えている。

問 この先を見ても、高速道路の開通、先の見えない景気回復など減少する要因は多い。経営も雇用や宣伝費、町への寄付を少なくしぎりぎりの状態であり抜本的改革が必要である。佐白、鳥上温泉との棲み分けと相乗効果のための戦略は。

答 各施設とも特徴が違い相当距離も離れている。奥出雲全体への入り込み客が増える戦略を立てる必要があると思っている。

問 既存施設の有効活用について問う。昨年3千万円で購入した阿井ナカバヤシ工場跡地の現況は。

答 進出企業は決まっていない。

問 チューター制度を設けるなど教員の応援体制を充実する取り組みを検討する必要があると思っている。

答 安部教育長
パンフレットを作成し、学校関係者や保護者の共通理解を図ること、希望する中学生を対象に家庭学習支援塾を開設していること、学校図書館と仁多、横田図書館の連携があげられる。